社協
おうみはちまん
No.82
令和6年1月1日（発行）

桐原学区で、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しました。

〔受付〕ボランティア参加者の名簿を作成して、健康チェックを行います。

〔オリエンテーション〕被災地の状況やボランティア活動上の注意事項を説明しました。

〔資機材・車両〕活動に必要な資機材を用意し、移動用の車両まで案内します。

〔コミュニティマッチング訓練〕一人暮らしの高齢者宅を訪問して、普段や、災害が起こったときの困りごとを聞いて、ニーズの把握を。

令和５年10月22日、桐原コミュニティセンターで「災害ボランティアセンター設置運営訓練」を実施しました。昨年の馬淵学区に続いて、今後各学区で開催し、災害に備えます。１週間前に鈴鹿西縁断層帯を震源とする大規模地震が発生し、建物の倒壊、火災・液状化の発生、ガス・水道・電気等のライフライン施設、鉄道、道路、堤防の破損等があり、多数の死傷者が発生した想定で、被災者の生活再建のため、市災害対策本部は、協定に基づき市社協に災害ボランティアセンター設置の要請を行いました。

災害ボランティアセンター設置運営訓練は、本部・サテライトの設置訓練、コミュニティマッチング訓練、コーディネーション訓練などで、被災者の困りごとにボランティアの力を借りて、生活の復旧・復興に向けた福祉救援活動を円滑に行うために実施しています。

目次

ボランティア交流会・地域福祉推進委員会 …… 2
ふくしでまちづくり座談会について …… 3
賛助会費・寄付について …… 4
学区社協交流会・寄付について …… 5
福祉ボランティア講座・団体紹介 …… 6
相談支援事業所・フードドライブについて …… 7
お知らせ（心配ごと相談・善意銀行など） …… 8

社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会
ホームページ https://ohshakyo.or.jp/
近江八幡市土田町1313 TEL：0748-32-1781 FAX：0748-36-6910
E-mail:ohshakyo@gmail.com

ホームページはこちら

「令和5年度ボランティア交流会」を開催！

NPO法人『Since』の代表から体験談やフリースクールの活動を話されました。

グループに分かれて、日頃の活動の悩みなどを話し合いました。

11月14日、「令和５年度ボランティア交流会」をひまわり館にて開催。ボランティア交流会は、年に１回開催しており、ボランティア団体同士の横の繋がりを強めるとともに、普段の活動のヒントやきっかけ作りになれればという目的で、子ども・高齢者・障がい者支援、環境整備、音楽関係などで活動しているボランティア団体から、34団体45名の参加がありました。昨年５月から新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ５類に引き下げられ、活動も再開されており、皆さんの活躍の場が広がっています。

交流会は『お笑い体操ミキ＆キキ』による手話を使ったラジオ体操で始まり、子育て支援の『ホームスタートほんわか』、フリースクールの『NPO法人Since』、バルーンアートの『Sボラ41』の３団体に活動紹介をして頂きました。その後、グループに分かれての交流を。話し合いでは、どのような経緯で活動が始まったのか、活動の悩み、最近の活動状況などを熱心に話し合われ、「他のボランティア団体の事を知ることが出来て良かった」「市内でこんなに多くのボランティア団体がある事を知らなかった」などの感想を頂きました。

「地域福祉推進委員会」を紹介します！

地域福祉推進委員会は、近江八幡市の福祉活動の進行状況を共有し、問題点を整理しています。今年度は地域の住民組織、福祉サービス事業所、ボランティアの代表者、行政職員など20名の委員にご参加いただいています。

安土学区生活支援グループ「ともに」のこれまでの歩みや活動についてお話いただきました。

第1回の会議は、「困った時に相談できる人がいて、必要な人に支援が届く地域」を目指すという基本目標について話し合いました。安土学区生活支援グループ「ともに」から話題提供をしていただき、各委員がそれぞれの立場から学区の活動とどのように連携できるかを考えました。

第2回の会議は、地域福祉推進の基盤について話し合いました。人材不足や自治会離れなどの問題に対して、どのような課題や取り組みがあるか、どのようなことができるかについて考えました。

各グループで学区域の活動について意見交換を行いました。

地域福祉推進委員会は、今年度3回の協議を重ね、第三次地域福祉活動計画の進捗状況と現在の到達点を確認し、次の第4次地域福祉活動計画につなげていく予定です。より良い地域福祉の実現に向けて、これからも地域の皆様と一緒に取り組んでいきます。

安土・馬淵で「ふくしでまちづくり座談会」を開催しました！

第３次地域福祉活動計画の基本目標を、地域の関係機関の皆さんと共有し、誰もが住みよい福祉のまちづくりに向けて、手をつないでいくためにお互いに顔見知りになる第一歩が「ふくしでまちづくり座談会」です。各学区、立場の違う多様な方に参加していただいて開催しています。

安土学区

５つのテーマをもとに話し合い、皆さんそれぞれの意見に熱心に耳を傾けておられました。

安土学区地域福祉活動計画策定委員の皆さん、学区生活支援グループやサロンなどの地域で活動されている方、各ボランティアの方、地元企業の方などに参加していただき、話し合いを行いました。話し合いの中で「近所でもどこにどんな人が住んでいるか分からない」「ボランティアスタッフの若返りが欲しい」といった課題が上がりました。その一方で地元企業として参加された方の熱いお話を聞いた地域の方から「若い人が地域の良さを感じてくれているのはうれしい」という声が聞かれたり、地元企業と福祉のタッグを組めないかと今後のひろがりを予感するような様子もみられました。今年度、安土学区地域福祉活動計画の策定にむけて話し合いを重ねています。

これからの計画策定、そしてその他の取り組みについてもふくしでまちづくり座談会で聞いた皆さんの意見を取り入れながら進んでいければと思っています。

馬淵学区

令和５年11月18日に馬淵コミュニティセンターで、ふくしでまちづくり座談会を開催しました。馬淵学区の地域住民の皆さんや、地域、行政、教育、福祉、介護、企業、それぞれの関係者、29名が参加され、馬淵学区の地域課題について考えました。グループに分かれての話し合いでは、地域での挨拶が大切である事や日頃の防災への意識、地域のお祭り等で地域住民の交流を増やしていければ良いなど、それぞれのグループで貴重な意見が出ました。

最後に寄せられた感想では、「普段関わりの出来ない地域の方々と交流が出来て、実りのある時間でした。」「参加させて頂いて大変勉強になりました。」などの感想を頂きました。

グループワークの様子。
熱心な話し合いが行われました。

賛助会費にご協力いただいた皆さま、たいへんありがとうございました。

合計 **410,998円**

※敬称略順不同で掲載しています。

八幡学区社会福祉協議会
金田学区社会福祉協議会
北里学区社会福祉協議会
武佐学区社会福祉協議会
老蘇学区社会福祉協議会
島学区まちづくり協議会
北里学区まちづくり協議会
武佐学区まちづくり協議会
老蘇学区まちづくり協議会
八幡学区自治連合会
島学区自治連合会
馬淵学区自治連合会
北里学区自治連合会
武佐学区自治連合会
老蘇学区自治連合会
岡山学区民生委員児童委員協議会
金田学区民生委員児童委員協議会
馬淵学区民生委員児童委員協議会
武佐学区民生委員児童委員協議会
安土学区民生委員児童委員協議会
老蘇学区民生委員児童委員協議会
株式会社ライフ
株式会社竹内モータース
きぬがさ作業所
株式会社スマイル&マインド
西澤典枝
三原康郎税理士事務所
株式会社湖光ケア
特別養護老人ホーム水茎の里
有限会社草津介護センター
石田幸代
金澤満
矢野壬子
ヴォーリズ老健センター
末房松三
近江八幡市安土赤十字奉仕団
有限会社塚又商店
近江八幡市赤十字奉仕団
近江八幡地区更生保護女性会
グリーン近江農業協同組合八幡東支店
渡辺好人
社会福祉法人近江兄弟社地塩会ケアハウス信愛館
特定非営利活動法人近江八幡市手をつなぐ育成会
合同会社びわこ福祉会
近江八幡市身体障害者厚生会
有限会社かじ直タイヤ
社会福祉法人さくら会
川村常男
近江八幡市老人クラブ連合会
近江八幡市遺族会
有限会社ヒューマンケア
西村恵美子
近江八幡市役所職員
近江八幡市立幼稚園職員
近江八幡市社会福祉協議会役職員

第13回近江八幡商工会議所・安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペのチャリティを寄付いただきました！

11月7日、13回目を迎えます地域福祉チャリティゴルフコンペが開催されました。毎回、そのチャリティを寄付いただいております。尾賀康裕大会長（近江八幡商工会議所会頭）から寄付目録とチャリティ（金161,500円）を藤田市社協事務局長へ。生活困窮者への食糧支援や子ども食堂、地域福祉の推進に使わせていただきます。

尾賀大会長（左側）から藤田事務局長へ寄付が渡されました。

学区社協交流会で、活発な意見が交わされました！

12月４日、「令和５年度学区社会福祉協議会交流会」がひまわり館ホールで開催しました。交流会は、一昨年から設置しております「これからの地域福祉推進基盤のあり方検討会」の視点を共有し、なぜ将来の地域福祉を支える土台の議論をしなければならないかを考えるために意見交換を行いました。

６つのグループに分かれて、「あり方検討会」の報告から、これからの地域福祉基盤について話し合いました。

開会のあと、市社協から「あり方検討会のまとめ」として説明を行いました。あり方検討会は、委員10名で構成、一昨年11月から昨年９月まで計６回の議論を重ねて、今に求められる地域福祉とは、その基盤を地域でどう支えていくのかを中心に議論してきました。第３次地域福祉活動計画において、「複雑・多様化する福祉課題に対する地域コミュニティの基盤づくり」を行動目標におきました。取り組むべき３つの視点として、地盤・ニーズの把握、組織の基盤づくり（人材不足、自治会離れなど）そして体制づくりに視点を置いて、活動していくことをまとめていただきました。

中根市社協理事から「人が社会を変えていきます。いろんな課題に対して地域福祉を考えることで道が開けていきます」とメッセージを。

続いて、６つのグループに分かれ、あり方検討会のまとめの議論や、今後の地域福祉推進の基盤を支えるための基盤づくりの意見交換をしました。各グループの報告は、「コロナで活動内容が変わる中、若い人の意見を取り入れて、次の世代に引き継げるようにしたい」とか、また、「あり方検討会の議論は、いろいろな課題を学区に降ろされただけである、ニーズを拾いあげても受け皿ができていない」など厳しい意見も出てきました。

最後に、中根市社協理事から「人が社会を変えていきます。いろんな課題に対して、地域福祉を考えることで、道が開けていける。今、何が大事かを考えていただきたい」と。今後、各学区でこの議論の具体的な話し合いを進めていきたいと思っています。

ありがとうございます！ かんき建設リボーン倶楽部から10万円の寄付！

12月１日、株式会社かんき建設かんき建設リボーン倶楽部（皆黒幸男会長：50社を超える協力会社）は、今年も「地域福祉の推進に」と10万円を寄付。嶌本会長から「毎年ご援助いただき、ありがとうございます。大切に使わせていただきます」とお礼を述べました。

皆黒会長から嶌本会長へ10万円の寄付が渡されました。

Smile&Mind
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
GEM代理店 株式会社スマイル&マインド
〒523-0892
近江八幡市出町416－13
電話番号　0748-36-2190
FAX番号　0748-36-2191

『安心整備で 安全運転を！！。』
竹内モータース・グループ

㈱竹内モータース
近江八幡市出町429－7
TEL：0748－33－2266
㈱ホーコー
近江八幡市若宮町213－3
TEL：0748－37－3048

♥福祉ボランティア講座を開催しました♥

高齢者のふれあいサロン、若いお母さんと子ども達のサロン、障がい児余暇支援、外国籍の子ども達の学習支援、フリースクールなど、様々なボランティア活動を体験しました。

自治会のサロンでお笑い体操

子育てひろばで遊んだ後のお昼ごはん

外国籍児童の学習支援でアイヌ文化を紹介

障がい児余暇支援で電車遠足

11月11日の第2回講座では、参加者同士で交流し、体験を通して感じたことを自由に語り合いました。ゲストスピーカーのしみんふくし滋賀理事 成瀬和子さんに、ボランティアとは「お金では決して買えないものが得られる・自分が楽しむことで社会貢献しながら仲間づくり、まちづくりが出来る・さあ始めましょう!」とエールを送って頂きました。

参加者の感想より

子ども達が笑顔になってくれて私までうれしくなりました

今までは周りが支えてくれていたと感じる。これからは自分も人を支えていきたい

近くでこういう活動があるのがうれしいです

安土手話サークル絆
厚生労働大臣表彰と設立40周年 おめでとうございます！

このほど、安土手話サークル絆（平尾悦男会長：会員37名）は、長きにわたってのボランティア活動が認められ、厚生労働大臣表彰を受けられました。また、今年で団体設立40周年を迎え、ダブルのお喜びで、誠におめでとうございます。「絆」は、聴覚障がい者への理解、手話の学習と普及を目的に、1982年に設立。新型コロナで一時活動を制限されましたが、毎週火・金曜日に安土コミセンを活動拠点に頑張っています。昨年暮れの「ふくふくフェスタ」で手話歌を披露、大好評でしたと。安土小学校での福祉授業においても、ろう者の体験談や手話コーラスなどを行い、子どもたちから手話を学びたいと感想が出て嬉しかった。今後も、手話を身近に感じてもらえる活動を続けていきたい。

平尾会長から「手話サークル絆の活動を長くやれて、大変うれしい、これからもこの活動をずっと続けて行きたい」と。

【手話歌の練習】
メロディと歌詞に合わせて手話で表現して。
顔の表情、体でリズムをとって。

社協の相談支援事業所を紹介します。

相談支援事業所は、障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の相談にのりながら、サービス等利用計画を作成しています。

利用者（障がい者）にあった障がい福祉サービスを提供します。

障がい福祉サービス

身体介護・家事援助(ホームヘルプ)　重度訪問介護　行動援護　同行援護　移動支援
日中一時支援　短期入所　共同生活援助(グループホーム)　など

仕事の流れ

- サービス等利用計画案を作成します。
- ⬇
- 支給決定がされます。
- ⬇
- 必要に応じて(サービス担当者会議)を開催します。
- ⬇
- サービス等利用計画を作成します。
- ⬇
- サービスの利用が始まります。
- ⬇
- モニタリング（定期的に相談にのります）

ご本人

年に１回計画の更新があります。

必要に応じて計画の変更をします。

相談支援専門員に安心して相談してもらえるように、日々頑張っています！

利用者（障がい者）と各機関との連携の窓口となります。

各機関との連携

家族　学校教育機関　医療　県　市(障がい福祉課・福祉政策課)　保健センター
作業所　放課後等デイサービス　ヘルパー事業所　　など

○ガイドヘルプひまわりを併設しています。視覚障がいのある方に、ガイドヘルパー（移動サポート）を派遣しています。

市職員等フードドライブを社協へ。お米、レトルト食品や缶詰など58品目を寄付!

10月31日、近江八幡市環境課の村岡課長補佐らが市社協へ職員等フードドライブで集めた食品を寄付。フードドライブとは、家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、食品ロスをなくすために寄贈する活動です。10月は食品ロス削減月間で、職員の協力を得て、昨年から実施しているもの。寄付を受けた社協は、今後、生活困窮者への食糧支援や子ども食堂への地域支援に使っていきたいと思っています。

市職員フードドライブで集めた食品を受け取る髙木社協副会長（右側）。

心配ごと相談所

どこに相談すればよいのか・・・。
そんな時は、近江八幡市社会福祉協議会へお気軽にご相談してください。
民生委員・児童委員が相談を聴いて、行政や関係機関につなげます。

相談日：平日の偶数日（祝日を除く）　13時～16時
場所：総合福祉センターひまわり館

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

3月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

善意銀行便り

ありがとうございます！

令和５年10月１日～令和５年11月30日

心温かいご寄付をいただきました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。
社会福祉や地域福祉活動に活用させていただきます。

（敬称略・順不同）

預託

寄付金

- 近江八幡商工会議所・安土町商工会合同地域福祉チャリティゴルフコンペ……161,500円
- 大中町自治会……10,000円
- 藤田花・愛……1,500円
- 匿名4件……116,303円

寄付物品

- 中辻紘一……フェイスタオル220枚
- 近江八幡市職員等一同……米8kg、お菓子1点、缶詰7点、乾物7点、インスタント食品19点、調味料9点、飲料13点
- キャンディーボム近江八幡店……りんご184個
- 成和クラブ……フェイスタオル48枚
- 匿名5件……米136kg、食料品77点

払出

払出物品

- 子ども食堂9カ所……米150kg、もち米5kg、食料品270点、
- NPO法人1か所……米36kg
- 子ども支援団体……米70kg
- 生活困窮者……食料品5件

傾聴ボランティア　始めてみませんか？

傾聴ボランティア『うさぎのみみ』は、利用者に寄り添い、その方の思いに耳を傾け、楽しく心穏やかに日常生活を過ごして頂くことを目指しています。

主な活動内容

- ・傾聴訪問　月１回程度（２人１組で訪問しています）
- ・定例会　第１水曜日
- ・その他　研修会、交流会などに参加いただきます

関心のある方は、ご連絡を下さい。お待ちしています！

問合せ　市社協ボランティアセンター
電話：0748-31-2677

傾聴についてのスキルアップのための研修

毎月１回の定例会。訪問の割り当てと報告をしています

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

令和６年、辰年を迎えました。新しい年の初めに今年の目標を決めてみませんか？子どもの頃に夢見たこと、今年こそ！とチャレンジしたいことなど小さなことでもゴールを決めることで走り出すことができます。一人でも多くの方が笑顔で過ごせるようお役に立てればと思っております。本年もどうぞよろしくお願い致します。

古紙配給率70%再生紙を使用しています
Environmentally Ink (Vegetable oil Non VOC)
Waterless Printing. Naturally.
●インキ：環境配慮型インキ（植物油インキ or ノンVOCインキ）
●印刷：有害な廃液を排出しない水なし印刷
この広報紙は会費と共同募金の助成金でつくられています